

# 湯沢砂防事務所と 現場代理人等との意見交換会開催

平成30年1月12日（金）に湯沢砂防事務所職員と湯沢砂防事務所が発注した砂防工事の施工者の皆様と砂防工事を進めるなかで様々な課題がありご苦労されていることについて、現場の生の声をおききすることを目的に意見交換会を開催しました。

当日は、各工事現場から現場責任者の現場代理人のほか若手技術者、女性技術者など20社、51名の多くの現場担当者の方々が参加されました。湯沢砂防事務所からは森下事務所長ほか設計、工事、用地、監督を行っているそれぞれの担当者22名が出席し、様々な課題について意見交換を行いました。

## 会議内容

### ■話題提供：「砂防に関する最近の話題」

北陸地方整備局河川部 関地域河川調整官

### ■意見交換

①設計、積算、工期、監督等の課題

②ICT活用工事の事例紹介

三俣溪流保全工その5工事

(株)森下組：

渡辺現場代理人



③担い手確保・育成、女性技術者の活躍

④週休2日の取り組み



森下事務所長

本日は、砂防工事を実施する仲間として、きたんのない現場の意見をお聞かせ願いたい。



関地域河川調整官

平成29年度も全国で土砂災害が多く発生している。砂防現場では土石流発生の危険性が高い。十分気をつけて工事に携わってほしい。

## 主な意見

- 砂防の現場は、山間地で大変厳しい場所にあり、険しい道路を通行して現場まで向かっている。少しの積雪でも危険で現場まで行けないこともある。現場条件や降雪を考慮した工期設定をお願いしたい。
- 出水で締切堤防が土砂で埋まり工事の一時中断が多かった。出水を考慮した工期設定をお願いしたい。
- 山間僻地での工事が多く、クレーン車などの重機を日々通うことは車両の確保や効率が悪い。月リースで現場に常駐させたい。
- 現場作業前の樹木等の伐採に時間がかかる。工程や費用の負担があり考慮できないか。



若い作業員の皆さん  
も熱心に参加



事務所職員も勢揃い

